平成19年8月9日現在

掘削・護岸工事に着手

斐伊川水系神戸川乙立地区　災害関連事業

○平成１８年７月の梅雨前線豪雨により宅地等２６．９ｈａ、家屋４２戸、公共施設等７戸が浸水しました。

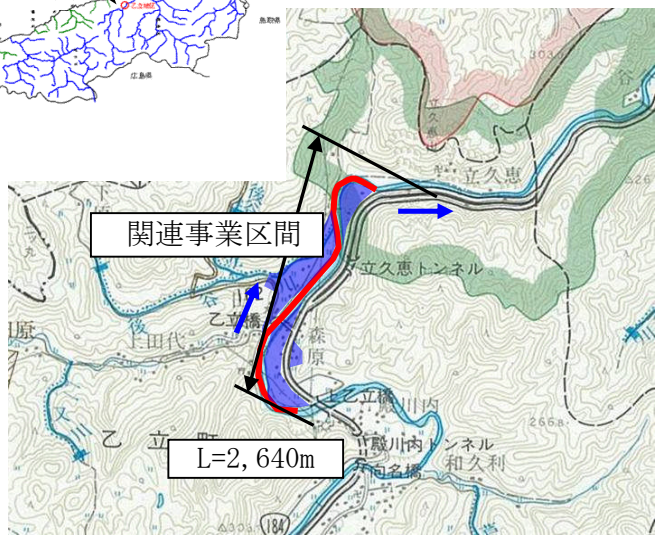
○神戸川乙立地区の治水安全度を、下流の暫定改修計画規模まで向上させます。

○治水対策として、築堤（引堤）、河道掘削により河道断面を拡幅します。

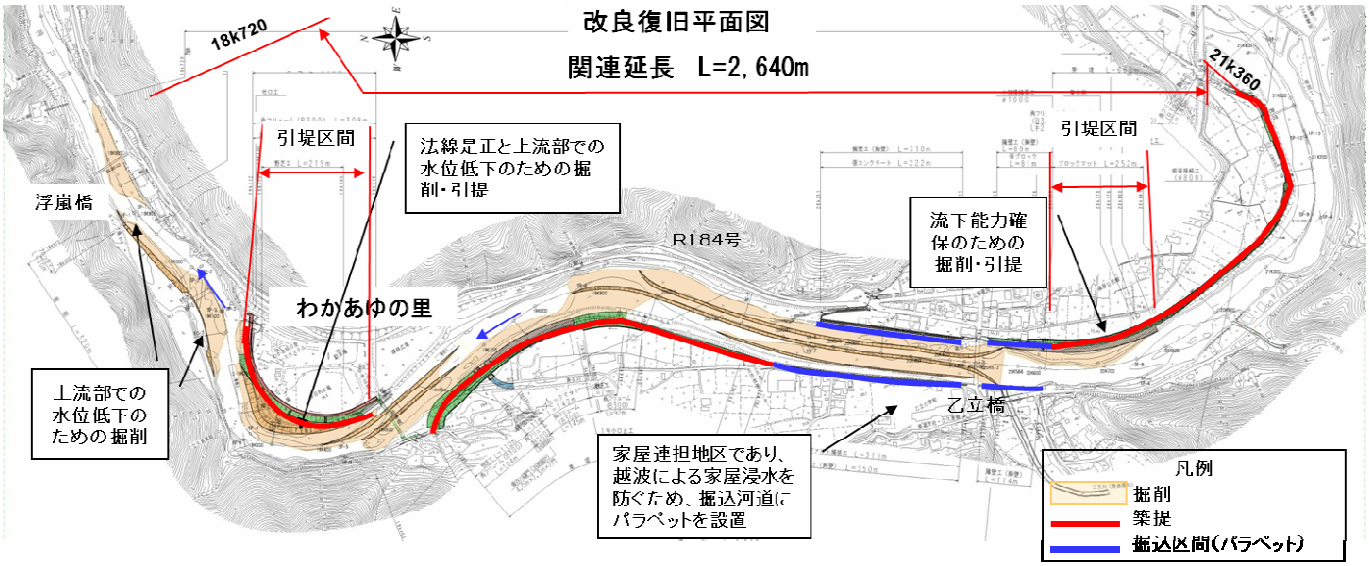
○現在の事業進捗状況
- 用地境界確定
- 用地地権者会８月７日開催
- 下流部護岸、河道掘削に着手

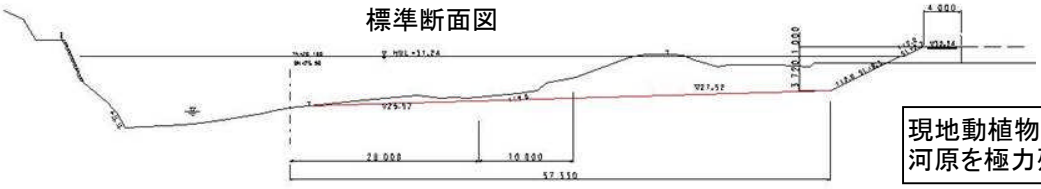
○今後の予定
- 築堤、護岸、樋門下部工、樋門上部工

神戸川乙立地区浸水状況（梅雨前線豪雨）
浸水被害面積26．9ha
家屋浸水被害42戸（床上38戸、床下4戸）
公共施設等浸水被害7戸



わかあゆの里堤防部の改修イメージ





現地動植物に配慮し、淵の保全ならびに河原を極力残すような最小限の掘削